



● 発行所
北海道被爆者協会
札幌市白石区平和通
17 丁目北 6-7
北海道版 北海道ノーマア・ヒバクシャ会館内
TEL/FAX 011-866-9545

北海道被爆者協会 ホームページ [http:// h-nomore-hibakusha.org](http://h-nomore-hibakusha.org) メール dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp

核兵器も戦争もない世界を――

ふたたび被爆者をつくるな 日本政府は被爆国としての責任を



会長
廣田凱則

二〇二四年が明けました。元旦に能登半島地震が起き、二日に日航機と海上保安隊機の衝突事故があり、何とも穏やかならざる新年の幕開けです。

外の世界は、行く先の見えないウクライナ戦争、そしてひどい人道危機をもたらししているイスラエルのガザ攻撃など、いたたまれない事態が続いています。

中国による台湾の武力統一を想定し、沖縄をはじめとする在日米軍基地が強化され、日本も敵基地攻撃能力まで持とうとしています。しかし対中国、北朝鮮、ロシアとの緊張を高めそれを力で抑え込もうとする中でいいのでしょうか。

戦後の世界秩序はいま大きく変わろうとしています。しかし大事なものは、国連憲章、国際法の原則を守るとともに、世界の平和を築くために首脳会談をして平和外交を貫く

ことではないでしょうか。

あの戦争でとてつもない惨禍を被り、唯一の戦争被爆国となった日本にできない役割があります。それは核兵器も戦争もダメと声を大にして世界に訴える事です。

昨年十一月末に核兵器禁止条約の二回目の締約国会議が開かれました。六五の締約国のほか NATO の一部を含む三四か国が

オブザーバー参加をしました。ところが日本はオブザーバー参加すらしないのです。残念でなりません。二五年三月の第三回の会議にはぜひとも参加してほしいと思います。

私たちが高齢化しましたが、声を大にして再び被爆者を作るなと訴え続けます。



理事(三笠)
中村政子

明けましておめでとうございませう。昨年の猛暑はどこへやら、空知

は雪の多い冬となり、皆様はお元気で新年をお迎えでしょうか。心なしかナカマドの実も例年より少ないように感じます。

昨年中は国内外に色々な事の多すぎた年でした。乱れた政治家の姿、活動を続けて参りたいと思います。

コロナ禍や戦争、世界情勢が混迷を深める中、核兵器使用宣言で威嚇する国等。しかし私たちは唯一の被爆国である国民として、私たち被爆者協会の活動は、戦争の中にあり、心

傷つき悲しい思いで苦しんでおられる人々に心を寄せ、世界の平和と核兵器のない世界へ、そして世界中の子どもたちが笑顔で手を繋ぎ合う事のできる時代になりますように、一歩でも近づく明るい時代にな

初春のお慶びを申し上げます

怒りと希望の新年です。
怒りは、終わらないウクライナ戦争とイスラエルのガザ住民虐殺。希望は核兵器禁止条約第2回締約国会議の成功です。原爆がもたらした、あの日の反人間的光景―何もない真っ黒の街、道に転がった死体、水を求めて息絶え折り重なった無数の死体の山―の訴えに、締約国会議会場は静まりかえりました。そして、アメリカ政府の原爆被害隠蔽、研究、運動などへの妨害・禁止、日本政府の遺棄に耐え、被爆から11年後に日本被団協を結成し、「ふたたび被爆者をつくるな」と、「核兵器の廃絶」「原爆被害への国の償い」を求めた運動、核兵器禁止条約成立への運動を伝えると、万雷の拍手が会場を包みました。
新しい年、世界中の市民と共に核兵器も戦争もない世の実現へ、力を尽くしましょう。

2024年 元旦



日本原水爆被害者団体協議会
代表委員 田中熙巳
代表委員 田中重光
代表委員 箕牧智之
事務局長 木戸季市

〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-5-902

